

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

実施年月 2025年2月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこすもすカレッジジュニア豊四季教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のカリキュラムが固定化されておらず、楽しむことを前提として工夫がされている事。	季節や行事に合わせて、事業所内でも四季を感じられるようなカリキュラム作成を意識している事。	他の教室との合同イベントや、年齢の高いご利用者様についてはこすもすカレッジへのステージの変化が意識できるようにカリキュラムの提供ができるように体制を整えます。 また、ご利用者様たちにもどんなことがしたいか、どんなことを行いたいかをヒアリングし、みんなでカリキュラム作りをすることでより一層楽しめるようなカリキュラムの提供を行います。
2	保護者様とご利用者様の発達や状況の共通理解ができている事。	送迎時や連絡帳にて様子を伝えること、また伝えるための練習や引き渡し時に新規の先生でも伝えられるように、添乗する職員をつけることで、なるべく誰が送迎、連絡帳を書いても変わらないように職員が共通意識を持っている事	職員全員がご利用者様の課題を理解するために、毎朝のミーティングで一人一人の課題や、今日頑張してほしいことをその日の職員で話し合いを行い、より良いサービスの提供ができるように一人一人の支援力を向上させていきます。
3	通っていただいている保護者様とご利用者様が望まれる支援に近いものを提供できている。	モニタリング時に保護者様のニーズ、ご本人とは日常的にニーズを聞くことを意識している。 また、作業療法士や心理指導担当の意見を取り入れることでニーズを更に昇華できるような話し合いを行っている。	保護者参加型のカリキュラムの要望をいただいており、ご利用者様が日々楽しんでる姿を保護者様にもご覧になっていただく機会を設けることができていなかったため、そちらへの取り組みも行います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていない	当事業所とご契約いただいているご家庭すべてに対して同日に保護者会を開催することが事業所の広さを考えると難しかったため。	昨年度は中学生という人生のステージの変化を考える年代に向けて保護者会を開催しましたが、本来であれば全ての年代に向けて行わなければならないため、年に数回の開催ができるように体制を整えていく。
2	非常災害時の避難や救出などの訓練を行っているが、周知できていない事。	実施はしているものの、非常災害訓練は不定期の開催であり、実施した事の周知が足りていなかった事が要因と考えられる。	SNSなどを利用して訓練を行った旨の周知を行います。また、訓練予定にご利用予定の保護者様に周知を行い、どのような内容を行ったかのご報告を行います。
3	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。	平日においても、可能な限り（下校時間が早い時等）公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っていく。